

建て替えの必要性

医療センターは、船橋市及び東葛南部保健医療圏における救急医療と高度医療を担う地域の中核病院として、質の高い安全な医療を提供してきましたが、給排水設備の老朽化や診療部門の狭隘化等の施設的な制限により、現状の機能拡充や、新たな機能の設置ができない状況です。これにより、高度化する医療技術への対応や、医療の安全と安心の確保が困難な面も出てきています。

新病院では、現在の機能を継続しながら発展させることが重要であり、建て替えを契機として、さらなる発展に向けた対応が必要であると考えられます。

新病院の目指す姿

①地域医療をリードする病院

市民をはじめ地域住民が、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療環境を確保するために、「地域医療支援病院」として、地域の医療機関と連携しながら、多様な医療ニーズに対応できる適切な医療を提供するとともに、人材の育成に貢献します。

③高度な医療サービスの提供

がん診療を中心とした高度医療を提供する総合診療施設として、質の高い医療を提供し、市民の生命、健康の維持に貢献します。また、多様な診療科が密接に連携することにより、高度な医療サービスを効率的に提供し、幅広い症例に対応します。

⑤災害に対応できる病院

「災害拠点病院」として、災害時においても、市民の命を守る病院として必要な機能を備えます。

⑦安定的な経営の確保

必要な医療機能を備えつつ、経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を行います。

②救急医療の充実

船橋市における救急医療の中核病院として、また、東葛南部保健医療圏における「三次救急医療機関(救命救急センター)」として、高度急性期医療のさらなる充実を図ります。また、救急医療と専門医療が密接に連携し、患者の命を守ります。

④患者中心の医療の確立

患者に十分に説明し、同意を得た上で必要な治療を行うなど、意思や権利を尊重した患者中心の医療を確立します。また、患者への負担が少ない治療を積極的に行っていきます。

⑥教育・研修機能の充実

「臨床研修指定病院」として、医師・看護師の他、全てのスタッフがスキルアップを図れるよう、教育・研修機能を充実させます。また、地域の医療従事者の教育・研修を実施し、医療人材の育成に努めます。

⑧働くことに喜びと誇りを持てる病院

優れたスタッフを確保するため、「職員にとって魅力があり、働くことに喜びと誇りを持てる病院」を目指します。

新病院の診療機能

新病院では、以下のような役割(診療機能)を担いながら、特に、救急医療とがん診療を中心とした総合診療機能をより充実させて、引き続き、質の高い医療を提供していきます。

地域医療支援病院	災害拠点病院
救命救急センター(三次救急医療機関)	臨床研修病院 臨床研究病院
高度医療を担う総合診療施設	新専門医制度の基幹病院
地域がん診療連携拠点病院	地域包括ケアシステムへの対応
地域小児科センター	

新病院の施設・設備

新病院の目指す姿や診療機能を実現するために、施設・設備を以下のような考え方で整備していきます。

高度医療の提供を支える施設・設備	患者中心の施設
感染症に対応できる施設・設備	災害に強い病院
将来を見据えた施設計画	教育・研修機能の充実
機能的な施設配置	経済性を考慮した施設・設備

新病院の病床規模

医療センターのさらなる発展に向けて考えられる主な内容は、次のとおりです。

▶(1)集中強化治療室等(ICU,SCU)の充実

一般病床で確保しているICU等の集中強化治療室を、現在の14床(ICU8床、SCU6床)から25~32床(ICU16~20床、SCU9~12床)に増床する

▶(2)内科診療科の充実

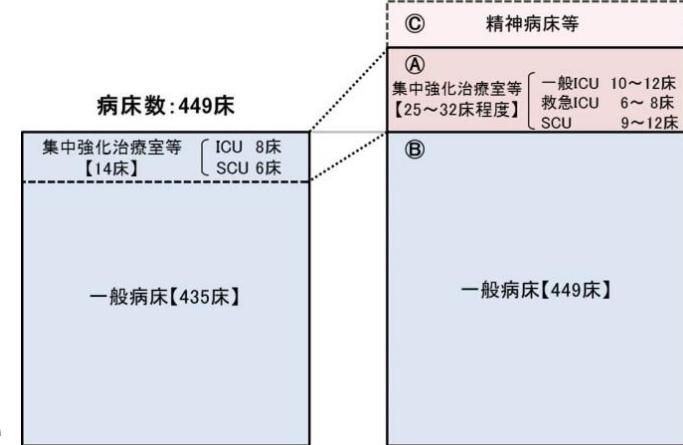
一般病床の増床が可能な14床の中で内科診療科の充実を行う

▶(3)その他の医療機能の検討

精神科身体合併症対応や周産期への対応等の必要性も含めて、引き続き検討する

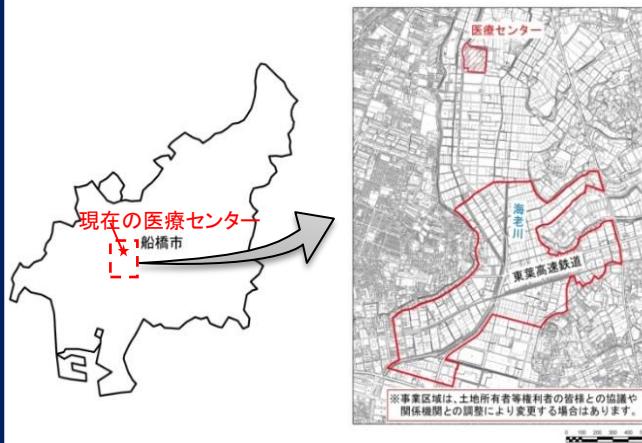
以上を踏まえ、基本構想では、新病院における望ましい病床規模を**474~481床程度 + 精神病床等**と想定し、今後、引き続き検討していきます。

病床数のイメージ
【現病院】 病床数:449床
【新病院】 病床数:474~481床程度 + 精神病床等



移転候補地

現在検討されている移転候補地は、「海老川上流地区のまちづくり」予定地内となっています。



施設計画等

▶(1)想定される施設の概要

- 建築物
 - 病院施設 500床規模(想定)
 - 駐車場施設 900台程度 ※現在の駐車台数700台(仮設駐車場含む)
 - 救急ステーション
 - 院内保育所 定員70名(想定)
- その他
 - 将来建替えスペース
 - ロータリー等



新病院の敷地面積としては40,000㎡以内を想定しておりますが、今後「海老川上流地区のまちづくり」の進捗状況と整合を図りながら決定していきます。

▶(2)整備スケジュール

建設用地確定後、スムーズに設計・建設に着手し、平成35年度(2023年度)の開院を目標とします。

	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
基本構想	[Progress bar]							
基本計画	[Progress bar]							
発注準備等	[Progress bar]							
基本設計	[Progress bar]							
実施設計	[Progress bar]							
新病院建設	[Progress bar]							
開院	[Progress bar]							
千葉県保健医療計画	[Progress bar]							
第4次千葉県保健医療計画(延長)	[Progress bar]							
改定	[Progress bar]							
第5次千葉県保健医療計画	[Progress bar]							

▶(3)整備事業費

整備事業費は総額418億円※1規模となります。ただし、この金額はあくまでも目安であり、整備手法等により大きく変化する可能性があります。

項目	税込金額(百万円)
1.設計・工事監理料	1,078
2.工事費(駐車場、保育所含む)	25,729
3.医療機器等整備費	6,886
4.移転費用等	110
5.用地取得費(非課税)	8,000
合計※2	41,803

※1消費税率10%で試算 ※2既存病棟解体工事費は除く